

SAMPLE

特集レポート No. 087

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による 日本経済への影響

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2020年08月17日

はじめに

- 新型コロナウイルスによりヒトとモノの動きが制限され、経済活動が停滞する中で、各業界にさまざまな影響が出ている
- 例えば、サービス業ではヒトの動きが制限されたことで来客数が減少し業績が悪化している店舗も多い。一方で、多くの企業でリモートワークが推進されたことでオンライン会議システムなどの需要は高まっている
- 本レポートでは特に影響の大きかった業界を「追い風業界」と「向かい風業界」に分けてピックアップし、業界や主要プレイヤーの動向を整理した上で、今取り組むべきことをコロナ禍での取り組み事例を交えながらご紹介する
- また、Withコロナ・Afterコロナの事業環境下で今後起こりえることを整理し、先行きが見えない中での企業活動を考える一助としたい

本資料の流れ



I. 新型コロナウイルスの業界別の影響

II. 各業界への影響

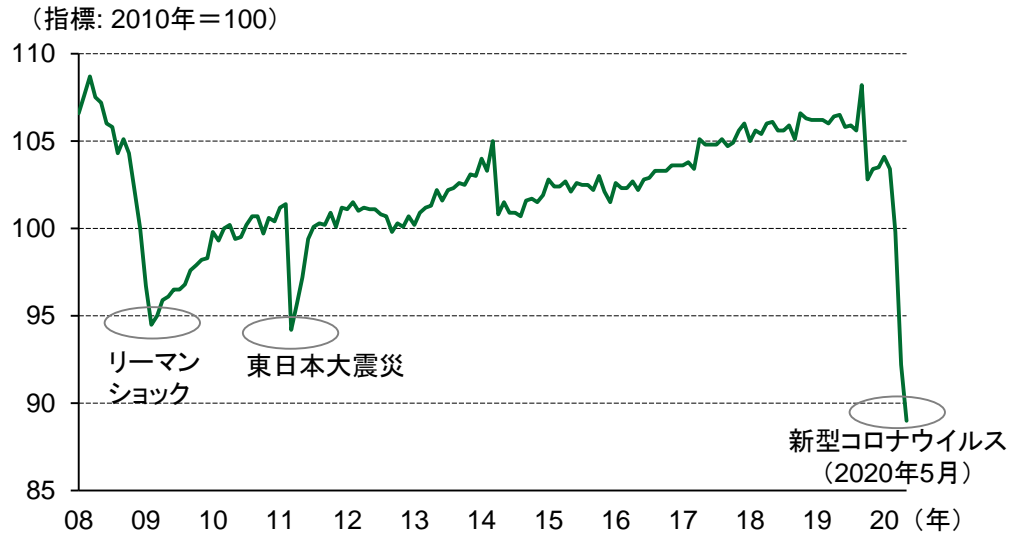
1. 追い風業界
2. 向かい風業界

III. Withコロナ・Afterコロナの展望

新型コロナウイルスの経済への影響

- 新型コロナウイルスはリーマンショック時を超えるような影響を経済活動に与えている

全産業活動指数*1



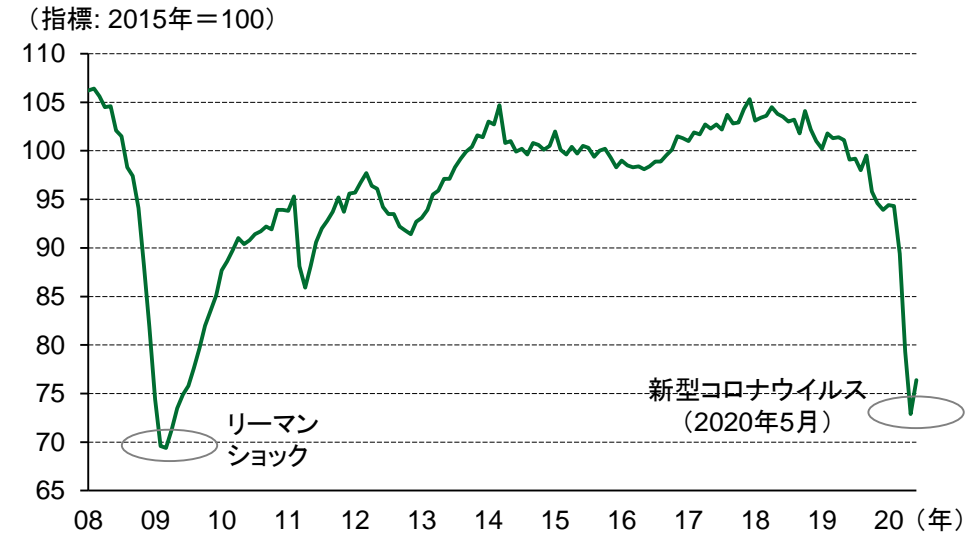
■ 全産業活動指数は2008年1月以降の基準で過去最低値

- 2020年5月の全産業活動指数は89となっており、リーマンショックや東日本大震災の頃の活動量を下回る
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言が4月7日に出され、経済活動や消費行動が制限されたことによる影響を受けるかたちとなった
- 5月25日に緊急事態宣言は全国で解除されたため、6月以降は持ち直すことが期待されるが、厳しい状況が続くものと思われる

注: *1. 全産業活動指数とは「建設業活動指数」、「鉱工業生産指数」、「第3次産業活動指数」の指数から算出される全産業の生産活動状況を供給面からとらえることを目的とした指数

*2. 景気動向指数とは産業、金融、労働など、経済に重要かつ景気に敏感な28項目の景気指標をもとに指数が算出される。景気動向指数は数カ月先の景気の動きを示す先行指数、景気の現状を示す一致指数、半年から1年遅れで反応する遅行指数と3つの指数に大別される

景気動向指数*2



■ 景気動向指数も急激に低下。悪化幅は過去最大

- 2020年4月の景気動向指数の悪化の幅は、これまでで最大だったリーマンショック後の2009年1月を超え、統計が比較できる1985年以降で最も大きくなった
- 感染拡大の影響で、自動車や鉄鋼の生産や出荷が落ち込んだことに加え、雇用情勢を示す有効求人倍率が低下したことが大きな理由となっている

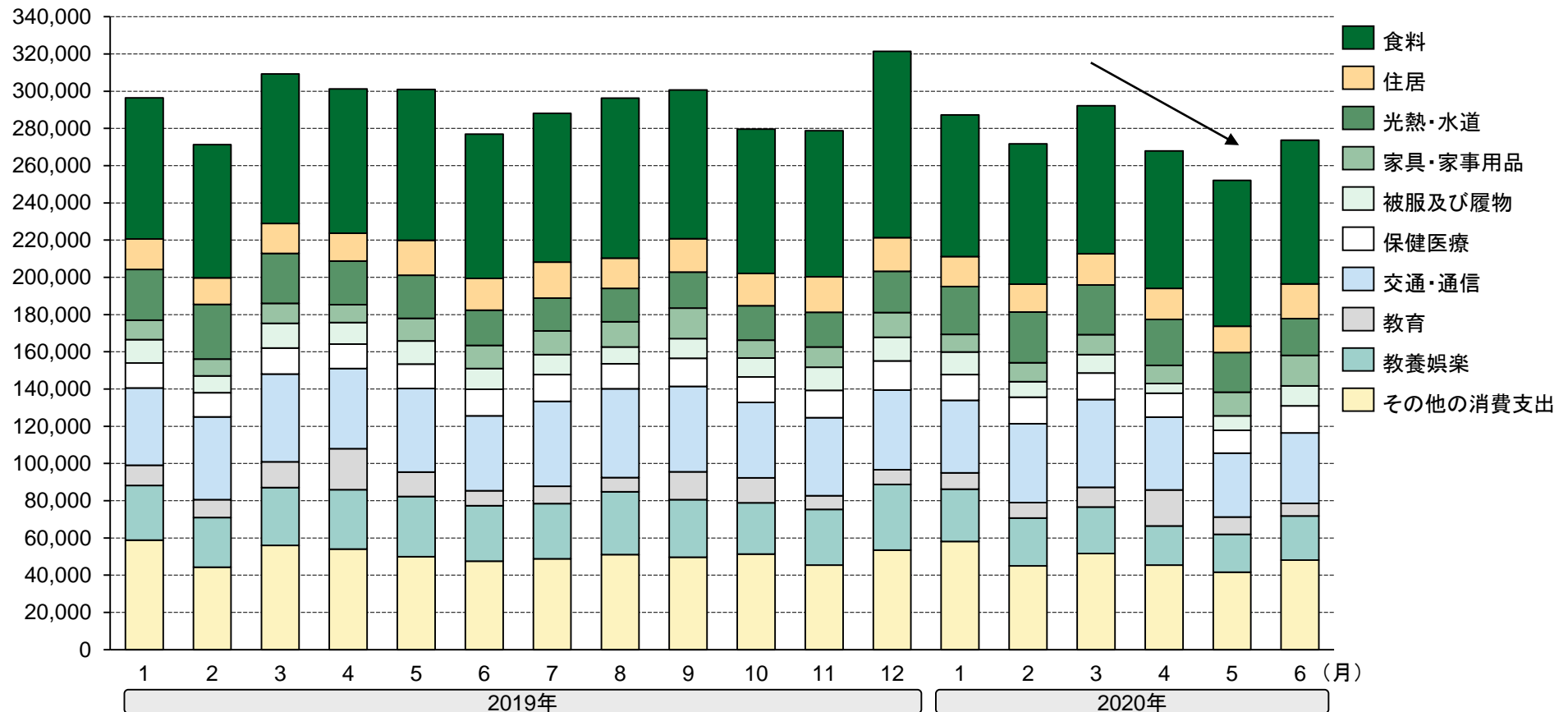
出所: 経済産業省「全産業活動指数」、内閣府「景気動向指数」

新型コロナウイルスの家計支出への影響

- 緊急事態宣言により外出が制限され消費者の支出も落ちているが、経済関連の指数ほどの影響は見られない

消費支出(二人以上の世帯)

(単位: 円)



出所: 総務省「家計調査報告」

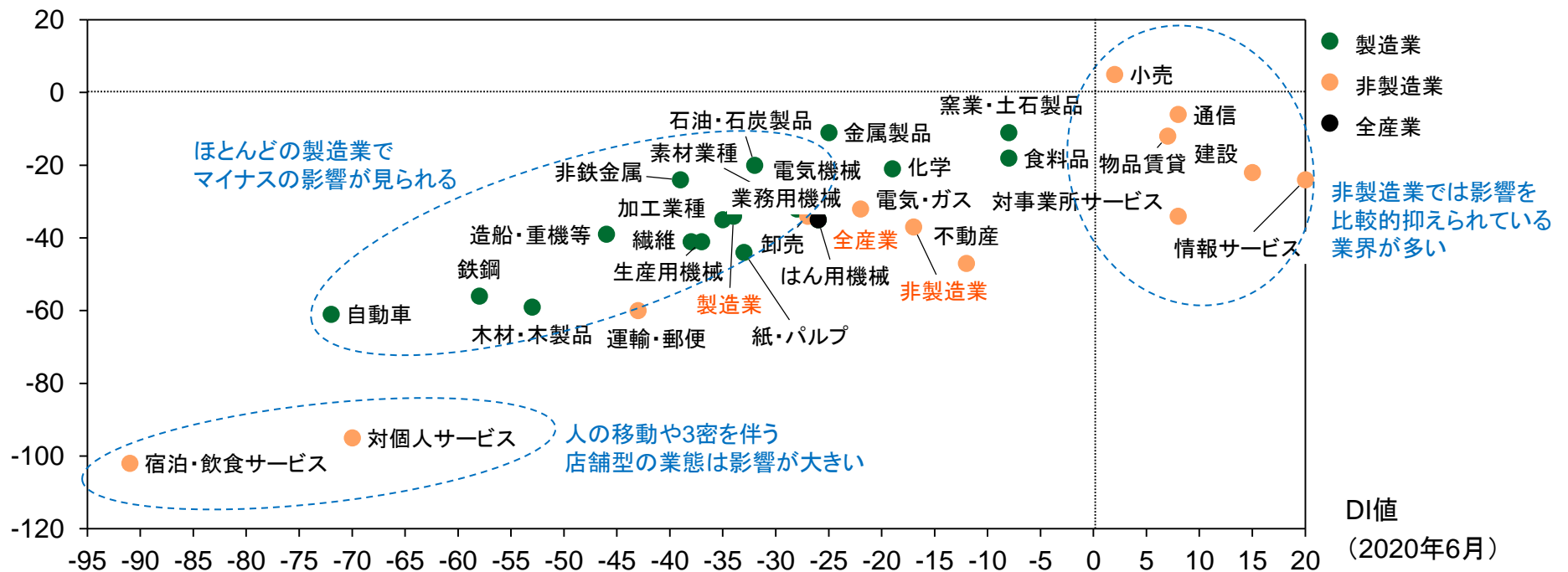
業界別の動向

- 業界別の動向をみると、宿泊・飲食サービスや対個人サービスが人の移動や3密が回避されたために急激に落ち込む
- 製造業も軒並み悪化している一方で、非製造業では比較的影響を抑えられている業界も見られる

業界別のDI値*1の動向

DI値の変化

(12月→6月)



注: *1. DI値とはDiffusion Indexの略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したもの。各判断項目について3個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答社数を単純集計し、 $DI = (\text{第1選択肢の回答社数構成百分比}) - (\text{第3選択肢の回答社数構成百分比})$ で算出。選択肢は(1)良い、(2)さほど良くない、(3)悪い。

出所: 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

新型コロナウイルスの各業界への影響

■ 業界によって影響を与える要因には違いがある

- ヒト・モノの移動の制限による影響や特定の地域のシャットダウンが影響する業界は特にインパクトが大きくなっている
- リモートワークの推進や衛生管理・健康管理はすべての業界で行われている

	対面でのやり取りを制限／3密の空間・接触の回避			衛生管理・健康管理の徹底	ヒト・モノの移動の制限		特定の地域のシャットダウン	
	社内会議の制限／リモートワークの推進	営業活動の制限	人が集まるイベントの回避		不要不急の外出の減少	インバウンド需要の減少	仕入れの遅れ	工場の停止
建設	○	○		○			○	
フード	○	○		○	○	○	○	○
アパレル	○	○		○	○	○	○	○
化学・医薬品	○	○		○			○	○
素材・材料	○	○		○			○	○
金属	○	○		○			○	○
機械	○	○		○			○	○
エレクトロニクス	○	○		○			○	○
自動車・輸送用機器	○	○		○			○	○
生活用品	○	○		○		○	○	○
エネルギー	○	○		○			○	○
情報・通信	○	○		○				
運輸	○	○		○				
総合卸	○	○		○			○	
総合小売	○	○		○	○	○		
金融・保険	○	○		○				
不動産	○	○		○				
広告・メディア	○	○	○	○				
法人サービス	○	○		○				
生活サービス	○	○	○	○	○			
旅行・レジャー	○	○	○	○	○	○		
医療・介護	○	○		○				

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に関及し、「打ち手」を導出します。

